

企画・調査専門委員会 平成14年度活動報告

平成15年4月25日
ITS情報通信システム推進会議
企画・調査専門委員会

1-1. 企画・調査専門委員会の活動方針

平成14年度 企画・調査専門委員会において、従来のWGの方針である「ITSの普及促進に向けた活動」をより具体的に展開するための「地域ITSリファレンスモデルWG」、及び、民間ビジネスのコアアプリケーションの発掘・展開を加速させるための新WGとして、「ITSコアアプリケーションWG」を発足し、活動を行った。

「地域ITSリファレンスモデルWG」

H13年度地域ITS情報通信システムWGの答申のブラッシュアップ

普及促進のための展開シナリオの推進

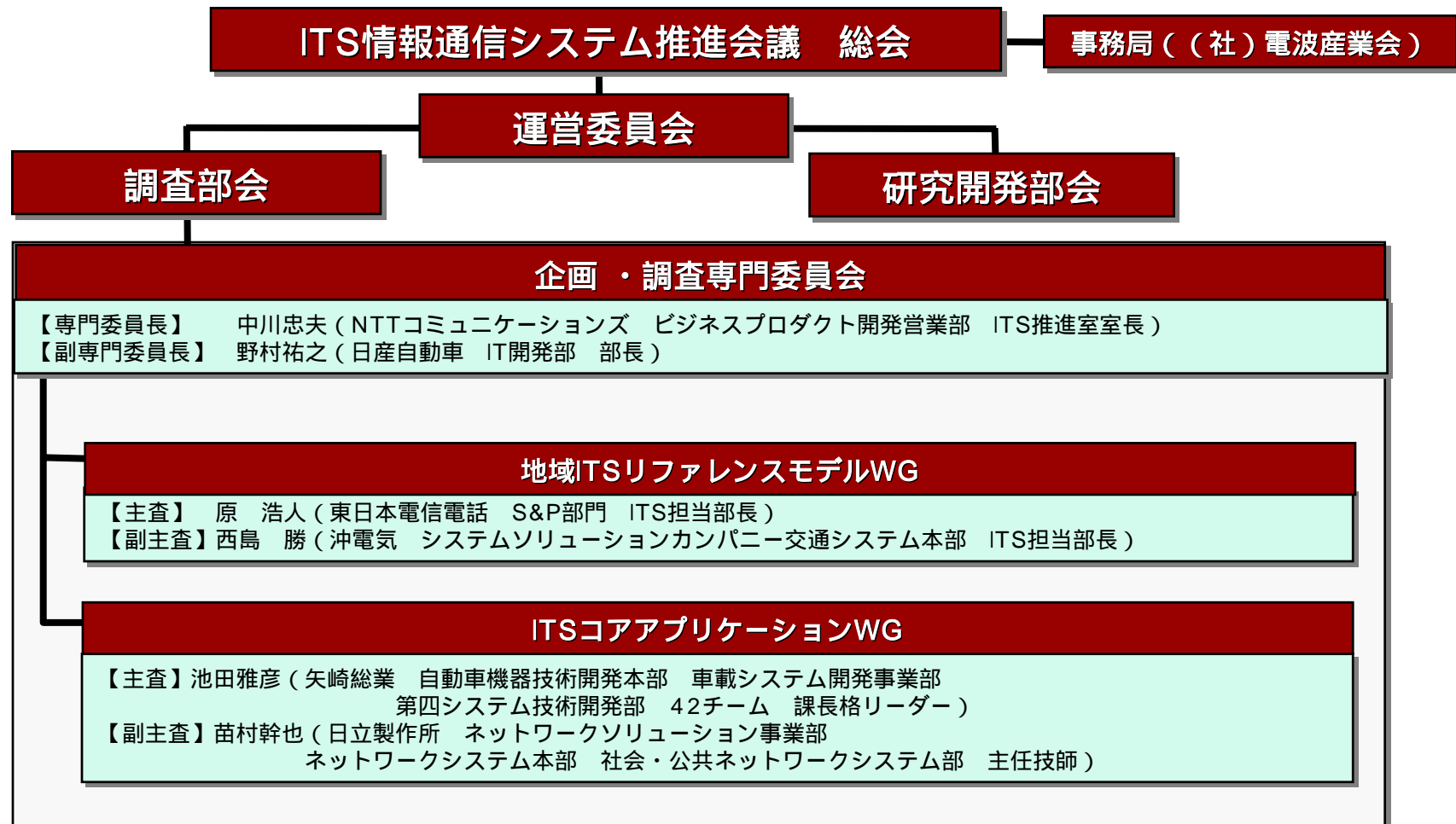
「ITSコアアプリケーションWG」

ITS民間ビジネスにおけるITSコアアプリケーションの調査・検討

ITSコアアプリケーション推奨モデルの検討・普及促進

1-2. 企画・調査専門委員会の構成

本専門委員会は、平成14年10月から下記に示すWG構成にて活動を行った。



1-3. 企画・調査専門委員会活動概要

平成14年

日時	イベント	トピック
9月27日	第11回部会長専門委員長会議 (中川専門委員長)	・地域WG主査及び専門委員長の交代。 ・第1回地域ITSリファレンスモデル説明会(9月25日、KIPA)報告

平成15年

日時	イベント	トピック
1月31日	第12回部会長専門委員長会議 (中川専門委員長)	・ITSコアアプリケーションWG設立。 (12月4日、池田主査)
3月10日	予算調整会議 (岡委員：地域ITSWG)	・平成15年度活動の予算化調整 (モデルイメージ図作成費(235万円))
3月26日	第6回企画・調査専門委員会 (地域ITSリファレンスモデルWG、ITSコアアプリケーションWG)	・平成14年度活動成果報告 ・平成15年度活動計画 ・平成15年度活動予算報告

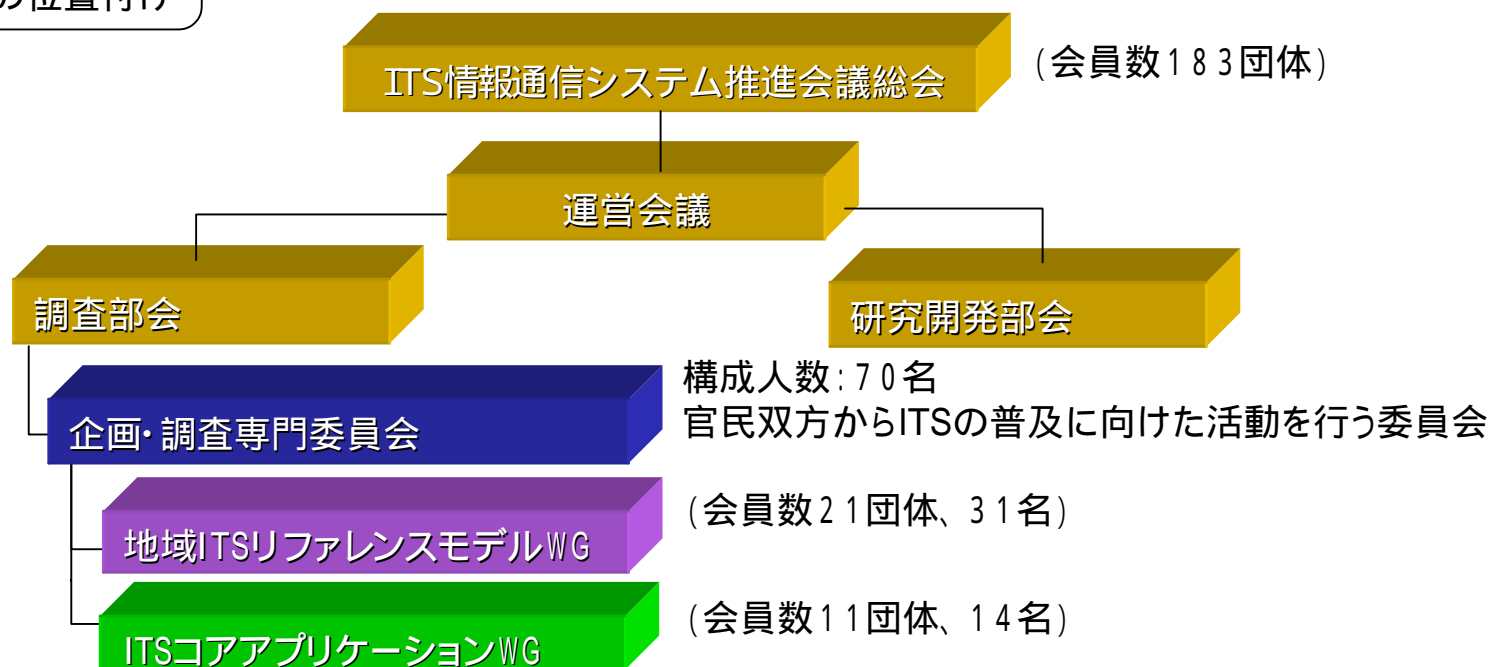
2-1. 地域ITSリファレンスモデルWGについて

目的と活動

本WGは、地方自治体等のITS技術を活用した地域活性化検討が、より容易に、より効率的に推進できるよう、参考となる情報等を検討・提言することを目的とし、平成13年9月にITS情報通信システム推進会議の中に設置された。

具体的活動としては、平成13年度にITSの地域における普及・展開シナリオの検討を行い、平成14年度にITS事例集の作成をおこなった。また、成果の普及展開および意見照会のため、大阪、高知において説明会を行った。今後も、広くご意見を頂きながら、検討を継続する。

本WGの位置付け



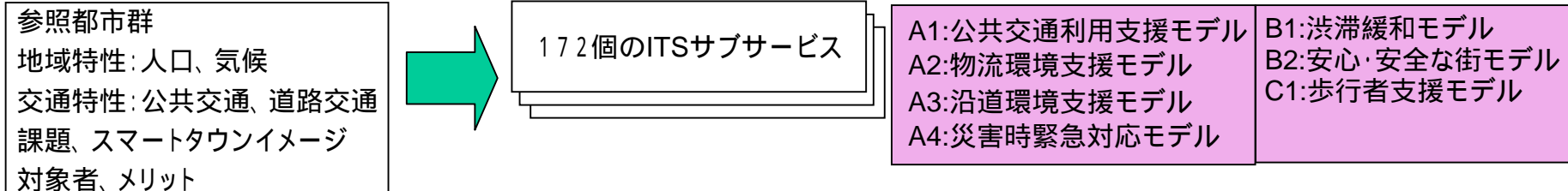
2-2. 地域ITSの展開シナリオとリファレンスモデルについて

平成13年度活動内容

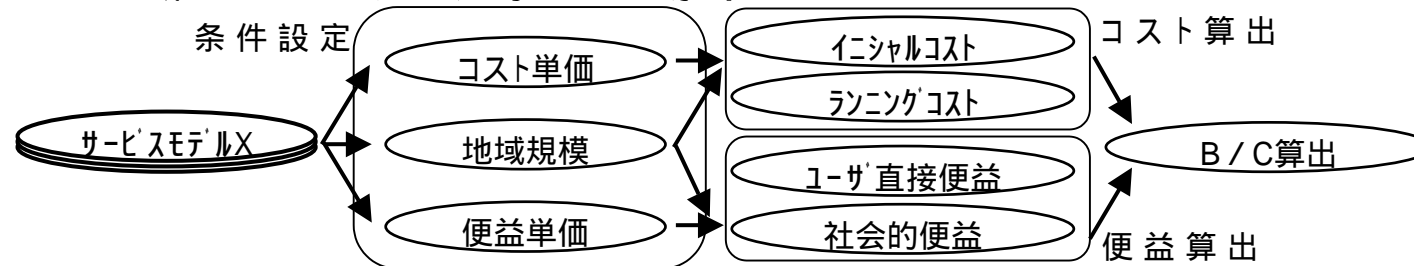
各都市の特性に応じたITS展開シナリオの具体化を目的とし、都市の特性別に7つのITSサービスモデル(リファレンスモデル)の構築を行った。また、ITSサービスを導入した際の費用対効果の考察及びインフラ整備における官民役割分担例の検討を行った。

7つの地域ITSサービスモデルの特定

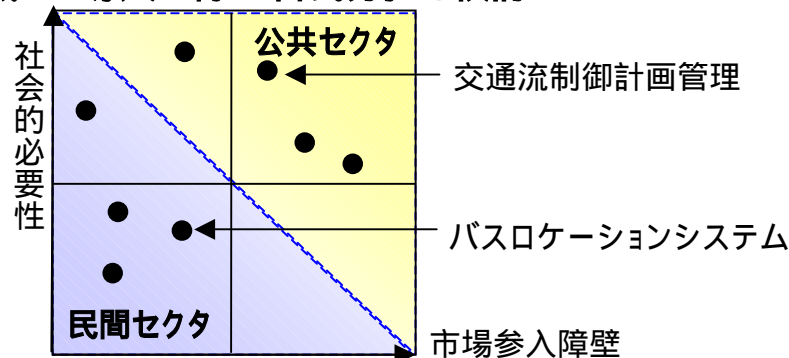
参照した都市の課題、特性から、最適なサービスを抽出(地域特性によって必要事項を取捨選択し、独自モデルも作成可能)



7つの地域ITSサービスモデル毎にB/Cを導出



地域ITS導入の際の官民分担を検討



実現難易度:比較的小
 社会的必要度:比較的小 の場合

民間セクタよりのモデルだが公共セクタの関与も必要であり官民連携で推進する必要がある

2-3 . 平成14年度WGの活動成果 (地域ITSリファレンスモデル説明会)

活動成果

1 . 地域ITSリファレンスモデル説明会の実施

第1回(H14.9.25)……説明会形式

- ・ 関西ITS推進協議会 (KIPA) - 参加者 134名
- ・ アンケート結果
“参考にできる”、“役に立つ”などの好意的な意見が多数

《改善点・要望》

より理解を深めるため、

具体的なイメージが掴めるアプリケーションイメージの提示
地方自治体の生の意見を交換できる形での説明会の要望

第2回(H15.2.28)……意見交換会形式

- ・ 高知県 (土佐国道事務所、高知県土木部、企画振興部)
地域ITSリファレンスモデルについて御理解を賜り、貴重な御意見を頂いた。

《意見・要望》

より内容を深めるため、

施策の実施にあたってはB/Cが重要であり、実際には便益評価が難しい状況。
都市部と地方では、導入地域の人口や交通インフラの整備状況の違いから、
個々の便益に対する重み付けは異なると考えられ、B/Cの多様な評価が必要。

2-4 . 平成14年度WGの活動成果 (地域ITSリファレンスモデル報告書)

平成14年度活動内容

平成13年度において検討したリファレンスモデルを実現する際において、アプリケーションイメージの具体化と、市中技術の動向を参照できる資料作成を目的とし、現状のシステム、サービス及び実証実験を調査し、事例集として編集しました。

地域ITSサービスモデルとサービスカテゴリ分類

・7つの地域ITSサービスモデル(A1～C1)に分類されたサブサービスを大きく6つのサービスカテゴリに分類

サービスカテゴリ分類と事例調査分担

・6つのカテゴリをキーとしてサブサービスをソートし、該当分野の調査を分担

システムとサブサービスのカバー範囲調査

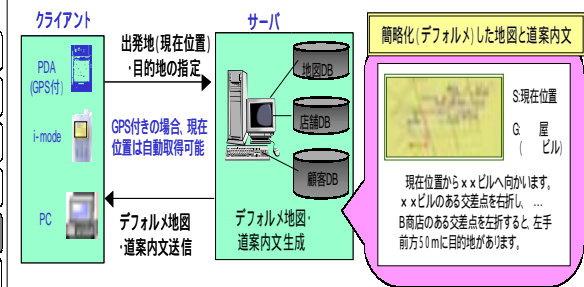
・サービスカテゴリごとに、文献・HP等により調査したシステムの概要と、該当サブサービスを選択

事例調査シート作成

・調査したサービス、システムの詳細説明を記述

カテゴリ-NO.	サービスカテゴリ
	公共交通支援
	車両制御・カーナビ
	駐車場支援・課金
	ドライバー向け情報提供
	歩行者支援
	交通制御・道路管理

事例調査シート

モデル	No.94 [モデル: C1 歩行者支援モデル、カテゴリ: 歩行者支援]			
システム名	デフォルメ地図利用型ナビゲーションシステム			
A1	サブサービス番号	140,141	進捗状況	構想・実験・商品
A2	概要			導入場所
A3	「デフォルメ地図利用型ナビゲーションシステム」は、指定された目的地と出発地(現在位置)から、自動的にデフォルメ地図(略地図)及び道案内文を作成し、小画面(携帯電話、PDA等)でも分かり易いナビゲーションサービスを提供するシステムである。			
A4	サービスイメージ			
B1	利用者が出発地(現在位置)・目的地を指定すると、サーバ側で生成されたデフォルメ地図と・道案内分が利用者の端末に表示される。			
B2				
C1	出典: http://marketing.sp.bch.east.ntt.co.jp/			

参考：システムとサブサービスのカバー範囲対応表

例) C1：歩行者支援モデルに分類されたアプリケーション群

【C1. 歩行者支援モデル】

No.	Page	カテゴリ	システム名	導入・実施 場所	導入・実施 時期	モデル サブサービスNo.	A6		C1		B2		C1					
							150	152	41	44	147	151	140	143	142	144	145	103
68	119	V	トキビリアビセーターにおける通勤帰りの提供	広島市	H23春	実装							○	○	○	○	○	○
69	116	V	視覚障害者誘導システム	福岡市		商品	○	○									○	○
70	117	V	歩行者ITS社会実験	大阪市梅田地区		実装	○	○					○	○	○	○	○	○
71	118	V	歩行者支援システム	つくば市	2000.11	実装	○	○					○	○	○	○	○	○
72	119	V	歩行者ITS	北九州市		実装	○	○					○	○	○	○	○	○
73	120	V	高機能位置特定サービス			商品			○	○	○		○	○	○	○	○	○
74	121	V	HAMMYOシリーズ			商品	○	○			○		○	○	○	○	○	○
75	122	V	ビューナビシステム			商品	○	○	○	○	○						○	○
76	123	V	まからじ	上田市(長野県)		商品							○	○	○	○	○	○
77	124	V	ユードーボイス	長野県		商品		○				○	○	○	○	○	○	○
78	125	V	エコーボイス	港区		商品		○				○	○	○	○	○	○	○
79	126	V	ブロックボイス	厚田市		商品	○						○	○	○	○	○	○
80	127	V	ナビナビシステム	木子市		商品	○	○				○	○	○	○	○	○	○
81	128	V	ポイントナビ DRM			商品		○					○	○	○	○	○	○
82	129	V	タッチスイッチ音声案内システム			商品	○						○	○	○	○	○	○
83	130	V	総合案内情報システム			商品							○	○	○	○	○	○
84	131	V	音声情報ガイドシステム			商品							○	○	○	○	○	○
85	132	V	視覚障害者誘導システム(HAMMYO)			商品	○	○					○	○	○	○	○	○
86	133	V	視覚障害者用ナビゲーションシステム			商品	○	○					○	○	○	○	○	○
87	134	V	歩行者ガイドロボット			実装	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
88	135	V	GPSを利用した歩行者ナビゲーションサービス「ナビ」			サービス終了							○	○	○			
89	136	V	「トモナビ」における歩行者ナビゲーション機能「歩行者」			商品							○	○				
90	137	V	視覚障害者・自転車ナビ社会実験	京東県厚狭地区		実装							○	○	○			○
91	138	V	3次元地図「DiaMap」			商品			○				○	○			○	○
92	139	V	携帯電話通信ナビサービス「ナビナビ」			実装							○	○	○	○	○	○
93	140	V	「NAVITIME」、実用的な歩行者ナビゲーション			実装							○	○	○	○	○	○
94	141	V	デフォルト地図利用型ナビゲーションシステム			商品							○	○	○	○	○	○
95	142	V	5G/6Gでかけナビ	全国		商品								○			○	

2 - 5 . 平成15年度WGの活動予定

活動予定

平成14年度に引き続き、自治体への普及活動を実施する。

1 . 普及活動の展開

地域ITSリファレンスモデル説明会の実施

H15 . 4 ~ 開催予定

新潟県IT&ITS推進協議会

九州・山口ITS研究会

札幌圏ITS推進フォーラム

2 . システム調査を拡充した報告書の作成

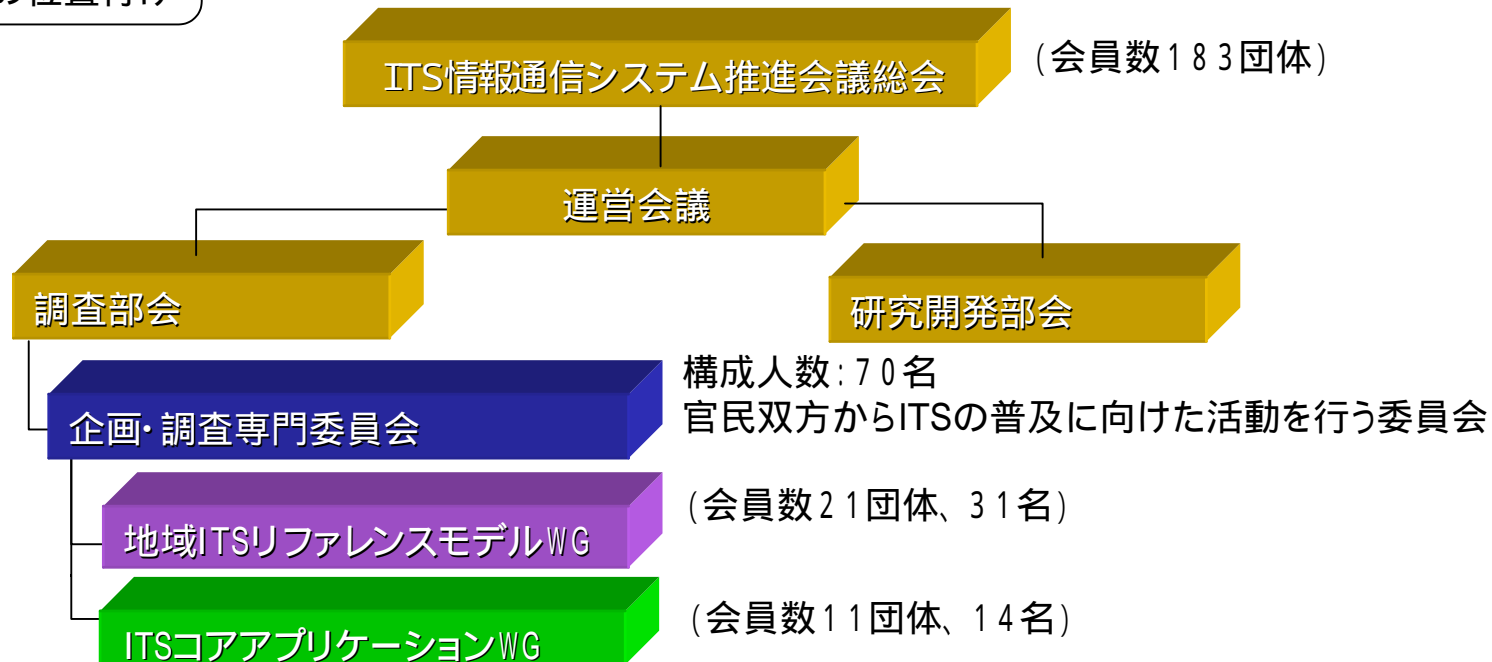
- 1) 地域のITS推進者のリファレンスとなる事例集を拡充する。
- 2) ITSの実現イメージのビジュアル化を図るモデル毎のイメージ概要図を作成する。
- 3) 平成13年度に作成したリファレンスモデルの実行性を確認するため、実際の自治体のデータを基にシミュレーションを行う。

3-1. ITSコアアプリケーションWGについて

目的と活動

本WGは、地方自治体の普及促進策として活動してきた「地域ITSリファレンスモデルWG」と性質の異なる民間ビジネスにおけるITSの普及促進に着眼し、ITS早期実現に向けたコアアプリケーションの発掘・展開を加速させるため、平成14年12月より11団体をメンバーとし活動を開始した。
本WGの活動は本年度と次年度の2ヵ年で連続した活動を計画することによりWGを推進することとなった。

本WGの位置付け



3 - 2 . 平成14年度WGの活動成果

活動成果

1 . 民間におけるITSアプリケーションサービスの事例調査報告書作成

ITSアプリケーションのビジネススキーム調査・分析

(例) 「通信インフラを軸とした分類」

今後は引き続き調査を行い、「企業(プレーヤ)を軸とした分類」、
「ターゲット層(B to B、B to C)」、「企業連携モデル」等、
様々な角度からの分析を行い、総合的考察を行う。

3-3 . 平成14年度WGの活動成果 (ITSアプリケーション調査事例集)

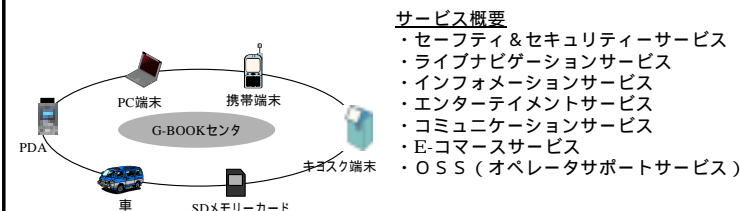
民間におけるITSアプリケーション調査事例分析

G-BOOK(テレマティクス)

運用フェイズ	実験 ・ (商用)
ターゲット層	B to B (B to C) その他
サービス(実験)規模	全国

サービス概要

G-BOOKセンターより移动通信網などを介して車や人に情報提供を行うサービス。
平成14年9月1日より紹介サイト (<http://g-book.com>) を開設し、同年10月1日よりPCやPDA、携帯電話向けに一部サービスの提供を開始。また、発売する新型車にG-BOOK対応端末を搭載するのを契機に、本格的なサービス提供を開始している。



G-BOOKの利用にあたってユーザは「G-BOOK利用契約」を結び、月々定額の利用料を支払う。これによりユーザは、車載端末による通信と、約30項目の標準サービスが受けられる。オプションの有償サービスについては、ユーザ自身が、利用の都度、サービス提供企業と契約する。G-BOOKの利用契約、オプションサービスの利用契約、及びこれらの解約は、車載端末から即座に可能。利用料の決済も、クレジットカードやプリペイドカードによる電子決済で行う。

システム形態

構成要素	概要
使用インフラ	携帯電話網、公衆網、ブロードバンド、ホットスポット
使用端末	G-BOOK対応専用端末、PC、PDA、携帯電話

主なプレーヤー

プレーヤー	役割
自動車メーカー	自動車への機器の設置
機器メーカー	機器の製造、自動車メーカーへの提供
機器販売店	機器の販売、加入の促進
ディーラー	自動車点検サービスコンテンツの提供
情報プロバイダー	コンテンツの維持、提供
G-BOOKセンター	サービスの統括管理
クレジット会社	利用料の決済
通信事業者	通信手段の提供

アマノ @Park 駐車場案内システム

導入場所	全国	進捗状況	商品
------	----	------	----

- ・@park は、インターネットを利用して、iモード対応携帯電話やカーナビに駐車場情報(空車情報、所在地情報等)をお届けするサービスです。もう、駐車場探して迷うことはありません!
- ・iナビリンク対応携帯電話、カーナビを利用して、@park 駐車場情報を閲覧できます。最寄り(1km/2km)の駐車場を検索することができます。
- ・また、カーナビとの機能連携により、駐車場位置の表示、車両の誘導を行います。

携帯電話型ココセコム

導入場所	全国	進捗状況	商品
------	----	------	----

ココセコム対応携帯電話機を持つ利用者の現在位置を即座に確認することができ、また、利用者が緊急事態にあるとき、緊急信号をセコムへ送信できる。
携帯電話の通信可能エリア内において

- (1)位置情報+現場急行サービス
ココセコム対応携帯電話機を持つ利用者が迷子等で現在位置を確認する必要がある場合、セコムで現在位置を確認することができ、要請があればセコムが現場まで捜索に急行する。
- (2)救急信号+現場急行サービス
ココセコム対応携帯電話機を持つ利用者が緊急状態にあるとき、利用者からセコムへ緊急信号を送信することができる。その後、利用者からの要請もしくは、利用者もしくは緊急連絡先への連絡がつかない場合、現場まで操作に急行する。

I POSNET 駐車場満空情報

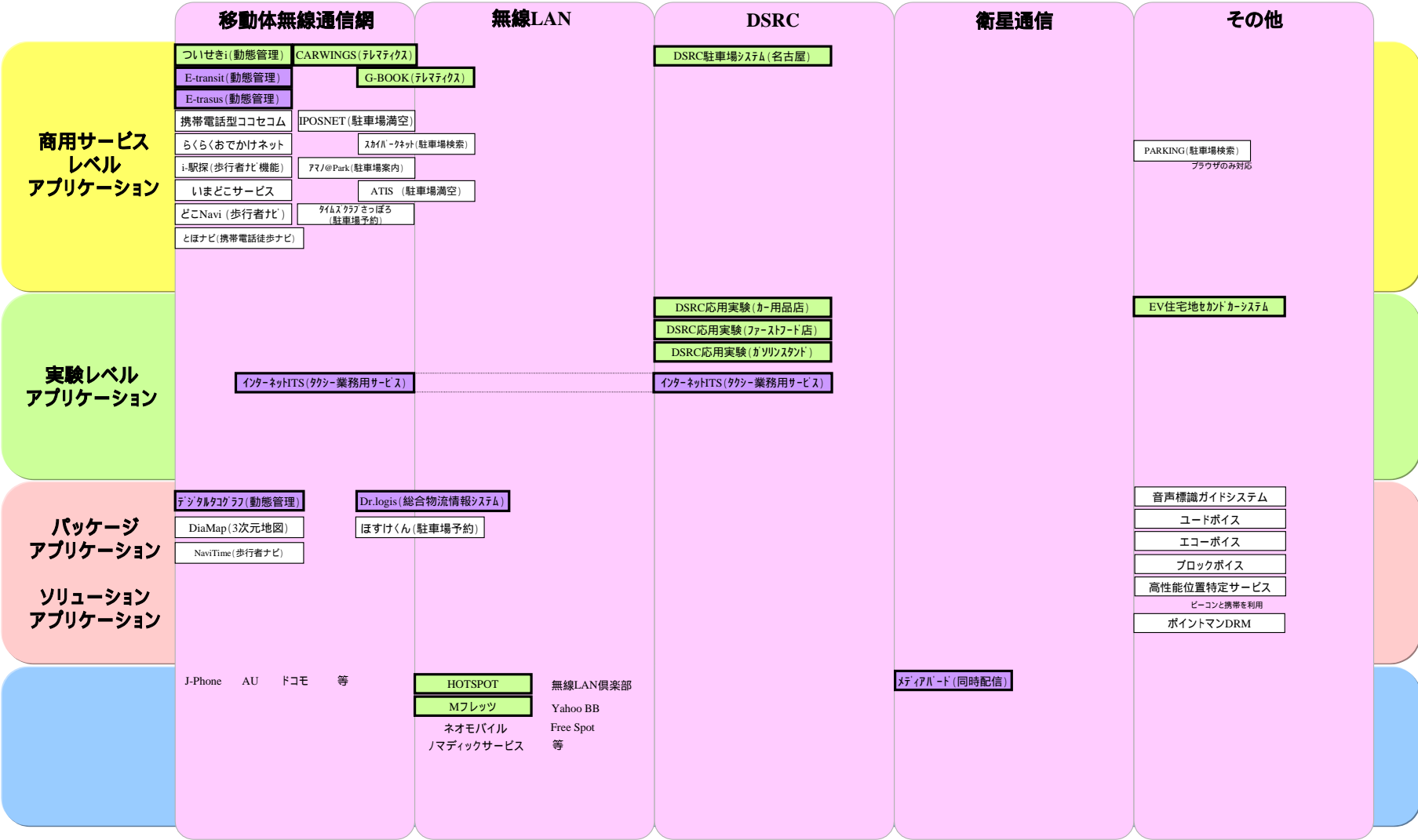
導入場所	全国	進捗状況	商品
------	----	------	----

- ・カーナビ・携帯電話などの通信端末駐車場のリアルタイム満空情報や地図による駐車場位置情報を提供します。さらに、駐車場のリアルタイム満空情報や地図による駐車場位置情報を提供します。
- ・NTTドコモのiモードサービスに対応しているうえ、iモードカーナビ及び主要全社、メーカー系列カーナビゲーションシステムなどへも提供されます。
- ・IPOSセンターから駐車場を呼び出し、駐車場の「空車」「混雑」「満車」情報を取り込み、当社の通信サーバを経由してカーナビや携帯電話事業者へ配信します。

3-4 . 平成14年度WGの活動成果 ((例) 「通信インフラを軸とした分類」)

民間におけるITSアプリケーションの現状 平成14年12月調査

凡例: B to C B to B その他 リファレンスモデルWG調査資料



3 - 5 . 平成15年度WGの活動予定

活動予定

平成14年度に引き続き、民間のITS事業を調査すると同時に、ユーザニーズなどのヒアリングを行いながら、今後、民間事業としてITSが普及するために必要な施策の検討を行う。最終的には、「ITS民間ビジネスヒント集」的な報告資料として取り纏める。

民間ビジネスの事業領域の検討

- ・ ITS民間分野のプレーヤと事業分野の相関関係
- ・ 民間ビジネスの企業連携例の考察

民間ビジネスの早期ビジネス化の問題提起と提言

- ・ 民間ビジネスの早期熟成のための提言

最終報告書作成

- ・ 取り纏め：ITS民間ビジネスヒント集

4 - 1 . 平成15年度企画・調査専門委員会活動スケジュール（案）

WG	H15年度												(H16年度)
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	H15年度総会		企画・調査専門委員会			企画・調査専門委員会			企画・調査専門委員会		総会		総会
地域ITSリファレンス モデルWG	地域への普及活動の展開				報告				報告			報告	
					事例集の拡充				モデル毎のイメージ概要図作成				
								具体都市でのシミュレーション実施					
												報告書取り纏め	
								ITSサービス事例のフィードバック					
ITSコアアプリケーション WG	民間プレーヤと事業分野の調査												
					民間プレーヤの連携例考察								
								民間ビジネスにおける課題検討					
												報告書取り纏め	